

青柳伸男：“我が国の生物学的同等性試験と国際調和，**DDS研究の進歩**”，静岡DDS研究会編，バイオメディカルリサーチプレス，東京（2001）pp.63-69.

青柳伸男：“**日本薬局方技術情報 2001**”，日本公定書協会編，じほう，東京（1998），pp.235-239.

香取典子：“**日本薬局方技術情報 2001**”，日本公定書協会編，じほう，東京（1998），pp.92-97，pp.121-124.

吉岡澄江：“**凍結乾燥技術，第4節 高分子添加剤と凍結乾燥剤の保存安定性**” 技術情報協会（2001）pp.150-156

谷本 剛¹⁾，坂本知昭，荒川宣親²⁾，宮澤清治³⁾，伊藤裕二⁴⁾：“**Rapid Examination Methods against Counterfeit and Substandard Drugs (Supplement 1) (不正医薬品対策マニュアル追加事例集1)**”：WHO・国際厚生事業団（不正医薬品対策マニュアル追加事例集作業委員会）編，じほう，東京（2001.12）

¹⁾ 国立医薬品食品衛生研究所大阪支所

²⁾ 国立感染症研究所

³⁾ 日本製薬工業協会

⁴⁾ 東京医薬品工業協会

坂本知昭 訳：“**アブライドセラピューティックスー症例解析にもとづく薬物治療— 第5巻**”，L.Y. Young, M.A. Koda-Kinble編，緒方宏泰日本語版総編，じほう，東京（2002.1），pp.95(1-12)，pp.96(1-26)

早川堯夫：“**バイオテクノロジー製剤の特徴と品質上のポイント**” 医薬品開発評価の基礎と臨床，医薬品開発評価の基礎と臨床研究会編，pp.411-442（2001），デジタルプレス，東京

尾崎幸紘：“**生薬学（改訂第6版）**”，第VI章 生薬の特徴と使われ方，指田 豊，山崎和男編集，南江堂，東京（2002）pp.73-107

土屋利江：“**微粒子工学大系 第II巻応用技術**”，無機微粒子の安全性と生体適合性，フジ・テクノシステム，東京（2002）pp.743-748

鹿庭正昭，佐藤正彦：“**くらしの中の知らない化学物質，第7巻 せんい製品**”，くもん出版，東京（2002）

鹿庭正昭：“**消費者トラブルの実践知識と解決法**”，I.

食品・医薬品などの安全と消費者問題，VI. 生活のなかの化学物質の安全と消費者問題，及川昭伍監修，国民生活センター，東京（2002）pp.186-194，pp.231-239

鹿庭正昭：“**世界と日本の大図解**”，暮らしに広がる抗菌加工，中日新聞東京本社企画編集部編，総合情報アクセス，東京（2002）pp.158-159

安藤正典，西村哲治他：“**上水試験方法 2001版**”，日本水道協会 水質試験方法等調査専門委員会編，日本水道協会，東京（2001）

安藤正典，西村哲治他：“**突発水質汚染の監視対策指針 2002**”，日本水道協会 突発水質汚染の監視対策に関する研究会編，日本水道協会，東京（2002）

石綿 肇：“**食品の安全性・品質確保ハンドブック**”，小沢理恵子，一色賢司，丸山努，新宮和裕，日佐和夫，萩島太一，渡辺健介，渋谷洋一共著，日本農林規格協会，東京（2001），pp.34-44（第3章第8節）。

石綿 肇：“**食品添加物，食品安全性セミナー2食品添加物**”，細貝祐太郎，松本昌雄監修，中央法規出版，東京（2001），pp.24-40，54-63，74-97，140-146，他（第2，3，5，7章）。

河村葉子，馬場二夫：“**食品添加物，食品安全性セミナー7器具・容器包装**”，細貝祐太郎，松本昌雄監修，中央法規出版，東京（2002）

小沼博隆：“**医療食・介護食の調理と衛生**”，第2章ハイリスクグループ，第4章医療食・介護食の衛生管理，小沼博隆，横山理雄編，サイエンスフォーラム，東京（2002）pp.87-91，pp.121-135

小沼博隆：“**実践 調理業のHACCP**”，日本食品衛生協会，東京（2001）pp.1-32

小沼博隆：“**HACCP マニュアル（めん類）**”，第1章 HACCPマニュアルの目的～第4章 HACCPシステム導入への作業手順，財団法人食品産業センター，東京（2001）pp.1-19

櫻井治彦，梅田誠，酒井綾子，梶原美次，土屋敏行他：“**化学物質の癌原性を予測するためのBALB/c3T3細胞を用いる短期2段階形質転換試験**”，標準情報TR Z 0023，日本規格協会，東京（2002）

高鳥浩介：“環境微生物の測定と評価”，オーム社，東京 (2001) pp.29-56, pp.71-80

高鳥浩介：“かび検査マニュアル カラー図譜”，テクノシステム，東京 (2002)

最上 (西巻) 知子：“生物薬科学実験講座 第3巻 脂質 [Ⅲ] 中性脂質、リポタンパク質・血清脂質、過酸化脂質” 井上圭三／中川靖一編、廣川書店、東京 (2002), pp.59-68

Sekizawa J, Suter G., Birnbaum L.: "C. Tributyltin and triphenyltin compounds", In Integrated Risk Assessment, Report prepared for the WHO/UNEP/ILO International Programme on Chemical Safety, December 2001, WHO/IPCS/IRA/01/12, pp. 90-115

Frith CH *¹, Ward JM *², Harleman JH *³, Stromberg PC *⁴, Halm S *⁵, Inoue T, Wright JA *⁶: Hematopoietic System, In: International Classification of Rodent Tumors: The Mouse, Eds: Mohr U, Springer-Verlag Berlin Heidelberg (2001) pp.417-451.

*¹ Toxicology Pathology Associates, USA.

*² National Cancer Institute, USA.

*³ Novartis Pharma AG, Switzerland.

*⁴ Ohio State University, USA

*⁵ Knoll AG, Institut für Toxicologie, Germany

*⁶ Underhill Housen Limited, UK.

平林容子：幹細胞，第2版 免疫学事典，編：大沢利昭，小山次郎，奥田研爾，矢田順一，東京化学同人，東京 (2001), pp.144-145

小野 敦，橋本 せつ子，浅野 和信 “実験医学別冊 クローズアップ実験法総集編” 表面プラズモン共鳴センサーを用いた内分泌かく乱化学物質スクリーニング法，羊土社，東京 (2002) pp.199-204

大野泰雄：“新薬開発評価の基礎と臨床 2. 新医薬品に求められる臨床的特性，その試験研究手法と表現”，非臨床試験と非臨床試験のタイミング，編集 新薬開発評価の基礎と臨床研究会，監修栗原雅直，デジタルプレス (2001) pp.43-53

大野泰雄：“新薬開発評価の基礎と臨床 2. 新医薬品に求められる臨床的特性，その試験研究手法と表現”，動物実験の意義，編集 新薬開発評価の基礎と臨床研究会，

監修栗原雅直，デジタルプレス (2001) pp.343-347

大野泰雄：“非臨床試験マニュアル”，非臨床安全性試験の実施時期，野村護，堀井郁夫，吉田武美編集，Life Science Information Center (2001) pp.278-288

大野泰雄，篠内桃子：“非臨床試験マニュアル” ヒト肝細胞の調製，保存，および代謝・毒性研究への利用，野村護，堀井郁夫，吉田武美編集，Life science Information Center (2001) pp.360-376

小泉修一，井上和秀：“脳機能の解明”，海馬 astrocyte によるダイナミックなシナプス伝達制御，赤池紀扶編，ガイア出版会，福岡 (2002) pp.91-98

Nakazawa, K.: "Encyclopedia of Molecular Medicine", ATP receptors, ed. Creighton, T., John Wiley & Sons (2001) pp. 282-284

Nakazawa, K.: "Encyclopedia of Molecular Medicine", Purinergic receptors, ed. Creighton, T., John Wiley & Sons (2001) pp. 2693-2695

小澤正吾，大野泰雄：“薬物動態・作用と遺伝子多型”，澤田康文企画・編集，医薬ジャーナル社，大阪 (2001), pp.228-236

Honma, M. and Sofuni, T.: "The mouse lymphoma assay (MLA) using the microwell method." In Genetic Toxicology and Cancer Risk Assessment, ed, Choy, W.N., Marcel Dekker, New York (2001) pp.141-161

岡田敏史他：“日本薬局方技術情報 2001”，(財)日本公定書協会編，(株)じほう，東京 (2001)

岡田敏史他：“改訂五版 分析化学便覧”，医薬品標準物質，日本分析化学会編，丸善 (2001)，pp. 34-36

Tanimoto, T.: "Rapid Examination Methods for Counterfeit and Substandard Drugs - Supplement Data for Thin-layer Chromatography -", WHO/WPRO & JICWELS, 東京 (2001), pp.1-40

石綿 肇：“醸造・発酵食品の事典” 吉沢淑，石川雄章，蓼沼誠，長澤道太郎，永見憲三編，朝倉書店，東京 (2001), pp. 169-179

石綿 肇：“食品衛生学” 久保倉洋子，島田俊雄編，光

生館, 東京(2002), pp.83-105

江馬 眞, 峯島 浩: "非臨床試験マニュアル" 生殖
発生毒性試, 野村 護, 堀井郁夫, 吉田武美 編, エ
ル・アイ・シー, 東京 (2001), pp105-117

Yoshimatsu, K. and Shimomura, K.: "Cryopreservation of
Panax (Ginseng)" in *Biotechnology in Agriculture and
Forestry*, vol. 50, *Cryopreservation of Plant Germplasm II*,
edited by Towill, L.E., Springer-Verlag Berlin Heidelberg
(2002) pp. 164-179